

Course number		U-LAS40 20018 LJ26					
Course title (and course title in English)		リハビリテーション概論 Overview of Rehabilitation		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Medicine Professor,AOYAMA TOMOKI	
Group		Health and Sports		Field(Classification)		Health and Sports Sciences(Development)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group D	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Wed.5		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>リハビリテーションとは何か？ 骨折した時に歩けるようにすること？ 脳卒中で動かなくなった手を動くようにすること？ そのどちらも正しいのですが、それはリハビリテーションで行われる事のほんの一部です。リハビリテーションで扱うフィールドはとても広く、必ずしもリハビリテーション室で行われる事だけでなく、毎日の日常生活の中に気づかないうちに取り込まれているものです。 講義では始めに総論として基礎知識、診断法、評価法を、中盤ではリハビリテーションを行う技術、残りで諸疾患に対するリハビリテーション、新しいリハビリテーションへのアプローチについて解説します。授業に参加する時には毎日の行動の中にどのようなリハビリテーションが隠れていて、どのようにしたら他の人の役に立ってあげる事ができるかについて考えてみて下さい。</p>							
[Course objectives]							
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの歴史的背景、成り立ち、実施方法の概要を理解する。 ・現代のリハビリテーションが抱える問題点を把握し、自分自身の考えを持てるように考える能力を養う。 							
[Course schedule and contents)]							
第1回 リハビリテーションの理念・歴史・定義 第2回 病因と診断 第3回 障害と障害受容 第4回 機能評価、日常生活評価と各種検査法 第5回 運動と代謝、廃用症候群 第6回 理学療法 第7回 作業療法 第8回 言語聴覚療法 第9回 リハビリテーション看護 第10回 がんとリハビリテーション 第11回 切断とリハビリテーション 第12回 骨関節疾患とリハビリテーション 第13回 Woman's Healthとリハビリテーション 第14回 再生リハビリテーション ・まとめと試験							
<div style="text-align: right;">Continue to リハビリテーション概論(2)</div>							

リハビリテーション概論(2)

講義予定は上記の通りですが、適宜フリーディスカッション等を行います。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

レポートを毎回提出して頂きます。レポートは教科書に書かれた知識や講義内容を問うものではありません。講義を聞き、自分自身の考えや前回の授業時の課題に基づいたレポートを求めています。成績はこのレポート点と試験で評価します。レポートと試験の点数配分は4：6です。

[Textbooks]

参考書は入門リハビリテーション医学（第3版 中村隆一監修、医歯薬出版）ですが、必ずしも購入は必要ありません。

[Study outside of class (preparation and review)]

教科書的な予習は必要ありませんが、テーマに沿って自分自身の実生活の中で課題に沿って考える事を実施して下さい。

[Other information (office hours, etc.)]